ガンバレ、消防音楽隊！（その51）

「羽曳野市グレープヒルズ・スポーツ公園竣工式典」から１回練習を挟んで、１週間後の「羽曳野市民フェスティバル」

この頃は、昼のパレードと舞台演奏を行っていましたが、今回は、市役所敷地内に提携都市のウィーン様式（？）の郵便局を開設したセレモニーが午前中にありました。

そのセレモニーでファンファーレの演奏依頼があり、ファンファーレ用に１０名だけ、朝から市役所入りしていました。

舞台の演奏も不安ですが、なんとか宣言とか、テープカットとかに合わせて吹く「ファンファーレ」って言うのはもっと不安。たかだか２０秒程しかないので、しくじると途中で立て直す間が無く終わってしまうのです。

控え室で「もうイヤ！」って言うほど練習しても、隊員達にしてみれば、更に不安が増して行きます。（って言うか、１回もマトモに出来ないので、当日何回吹いても良くなるはずが無い。）

打合せを終え、関係者が居なくなっても、そのまま式典の場所にいました。「プルップー、プルップー。」と鳩の鳴き声（って言うんでしょうか？）がします。野生の鳩が居るのかなって振り返ると、半円形のカゴの中に「白い鳩」の大群！？それもカゴ２つに思いっきり入ってます。その後ろに飛ばない様シートにギッシリ詰め込まれた風船も発見！

「ファンファーレと同時に飛ばすんやで。」

「鳩は戻って来るんやろうから、丸儲けやなー。」

と関係ない事には敏感な隊員達。（演奏の事を気にしなさい！）

「演奏のマズさも吹き飛ばしてくるかな？」

と思いつつ「もう１０分前なのに、まだ、式典参列者が誰も来ないなぁー」って時計を見ていると、

「まだ、誰も来ない内に、もう一回だけファンファーレしましょうよ。」とある隊員が言ってきます。

「もうエエやん。」（２０秒のファンファーレを、当日現地で何回練習すんねん！！）

「お願い、あと１回だけ。誰も来ない内に！」

仕方なく、

「じゃー、本番と思って思いっ切り吹いてみて。行くで。１、２、３、ハイ！」

「♪♪♪パーンパパパンパンパッパパ～～　♪♪♪パンパ――――ン！」

終わったとたん、

「ヒュ～～ン、ババババ～～ド～～ン！！」

と花火が！

「げ！(*_*)」

って顔してると、隊員から、

「今のファンファーレを本番と間違えて、打ち上げ花火上がっちゃった(>_<)」

（マジでー？もう知らんで(/-＼)　）

隊員達はゲラゲラ笑ってます。（笑い事かい！）

式典５分前になって、何も知らない式典担当者や司会者、参列者が続々と集まって来ました。挨拶とかがあって、テープカットに合わせて「ファンファーレ」です。

「花火って予備ないやんな～」と思いながら、「１、２、３、ハイ！」

「♪♪♪パーンパパパンパンパッパパ～～　♪♪♪パンパ――――ン！」

「シ――――ン」

飛んでゆく風船と、白い鳩がとてもキレイで印象に残っています **(-“-;)**

式典後そそくさと、パレード終結場へ移動、全員合流して、約２ｋｍのパレード演奏をこなし、控え室で休憩後、やっと舞台演奏。（あーしんど。）

舞台に３５名の音楽隊が乗ってますが、お客さんは４０～５０人。**(T T)**

最後に「ディズニー・メドレー」です。３人ほどの子供さんが舞台にかぶりつきでいます。（「ディズニー・メドレー」を期待してくれてんのかな～？）

でもやっぱりズタボロ。

ガックリしながら最後のお辞儀。

控え室に楽器ケースを取りに戻り、撤収します。

「かぶりつきで聴いててくれた子供達は、ディズニー・メドレーで嬉しそうやったなー。」

と言う隊員がいました。

「どんなんやったん。」

「ウチの演奏でも、喜んで、聴いてくれてたでー。」

それを聞いて、嬉しいのと、満足に演奏出来なくて申し訳ないのとが入り混じり、なんとも言えない気分になりました。

帰りのバスの中では、「花火事件」が話題に。

しかし、朝から入ってた隊員の昼食弁当代に各自１０００円徴収された事が最大の話題になっています。

「弁当代に１０００円も取られた――！！」

「うっそ～。」

「鯛のお頭付きでも入ってたんか？」

「大したモノは入ってないのに、１０００円やで――！」

「ピンハネされてんちゃうん？(@_@)」

「楽長が取ってんちゃうん？」

好き勝手に言い放題。

お前ら～～～演奏の事は話題にならんのかい！！(-_-#)

次回は、「・・・・・」次回までに考えます m(_ _)m

ガンバレ、消防音楽隊！（その52）

（今回は「ガンバレ、」が始まって以来、最高に気を使って書いております。「パンドラの箱」を開ける心境です。ふぇ～ん、メッチャ怖いよー(/-＼)　）

近年、「雇用機会均等法」が制定されてからは、「女性の職場、男性の職場」と言う表現も聞かれる事がメッキリ少なくなりました。まだ少ないですが、女性消防士もあちこちで誕生していると聞きます。

当消防組合では、今のところ、まだ、女性消防士はいません。が、女性の職員は４名居ます。消防士ではないので、火災や救急に出場しません、給与計算などの「事務」を行っています。

二人は、「お母さん」、一人は「お姉さん」と言える年代ですが、あと御一人、年齢としては「妹」ぐらいなのですが、「部長」と言うニックネームが付く程の「存在感」をお持ちの方です。（もう敬語になっております(*_*)　）

喜怒哀楽を周囲に非常に良く伝える能力に長け、ご機嫌が斜めの時は、近寄る事も躊躇う私です。（あ～書いちゃった～。叱られるだろな～）

感情の起伏が、我々に比べほんの少し顕著に「お顔と態度」に出るだけで、多分、人情にはとても厚い人だと私は信じております。（しっかりホローも(^-^;　もうドッキドキです。)

で、ある日、この「部長」さんが、

「音楽隊の練習を見学させて下さい。」と申されました。

「ハイ、お待ちしております。」

小心者の私には、当然これ以外の返事は思い付きません。

「部長」さんが見学に来られて、隊員達は、

「なんで来てんの？」

「なんの用？」

などと言う者は誰一人おらず、目だけがキョロキョロ？(@_@)？オドオド？？

合奏中は、皆から少し離れて座って聴いておられますが、それだけでいつもと違う雰囲気。（本人はそんな気は毛頭ないのでしょうが、すごい存在感！さすが「部長」と呼ばれるお方。）

練習が終わると、

「お邪魔しました～。」とニコッとして出て行かれます。

と、とたんに、隊員達が、

「なんで、なんで？」

「なにしに来てんの？」

と、質問攻め。

「さー？見学したいって言うだけで、よく分からないけど(^^ゞ」

（やっぱり本人には誰も訊く事は出来ません。）

二、三度「見学」にお越しになられ、隊員達の「緊張」も少しづつ緩和されてきた頃、「部長」さんが

「音楽隊には、事務職員は入れないのですか？」

と言って来られました。

「へ？いや、そんな事はないと思うんですが・・・(^-^;。)

「私、やってみようかなーって思うんです！（キッパリ）駄目ですか？」

（そんなん、私単独では対応能力オーバーです。）

「いえいえ大丈夫でしょう。トニカク消防長と相談しましょう、ね、ね。」（もうドギマギ）

すぐに消防長室へ。でもいきなりでは消防長も困るだろうから、「部長」さんには待ってもらい、私一人で説明に。

「音楽隊に入りたいと言ってるんですが、いかがでしょう？」

「大丈夫か？」

「何度か見学もしてもらってますし、本人はやる気満々のようです。ただ隊員達は戸惑っています。」

消防長もこんな(^-^;

「本人にやる気があるんやったらエエやろ。」

「分かりました。外で待ってもらってますが、呼びましょうか？」

「部長」さんも入室し、消防長から

「しっかり（音楽隊を）やるように。」

「はい、ありがとうございます。では失礼します。」

あれ？終わり？再び消防長と私だけになり、

「おい、大丈夫か〜、オレ知らんぞ〜。」（エ〜、今、許可したやん！）

「は〜、でも、やる気はあるようですので、」

「あの子は気ママやから、まー頑張って。」

二人とも終始こんな顔(^_^;)

こんな成り行きで当消防音楽隊初の女性隊員、「やる気満々の部長」が入隊する事になりました。パートはクラリネット。担当の先生にも紹介したところ、「師弟コンビ」と呼ばれる程の仲になっています。

「部長」さんは、楽器経験はありませんが、勉強熱心、練習熱心。メキメキ上達して行きます。が、自分から飛び込んで来た分、チョット熱心になりすぎる傾向があったりもしました。

今は、気持ちに余裕もできたのでしょうか、周りの隊員に「適度な指導」を行って、「非力な楽長」を助けてくれています。（再び、フォロー！気使う～。）

でも、時々「爆発」して、周囲をオロオロさせてもくれます。

１１月下旬になって、日暮れが早くなり、退庁時、既に暗くなった空に☆を見つけると、「部長さんが、もう少しだけ、ま――るくなってくれます様に。」と願う極めて気弱な楽長です。

（あ～～～、疲れた(-.-)　）

次回「新庁舎設計」です。

ガンバレ、消防音楽隊！（その５３）

総務課に着任してから、議会にも出るようになり、今までは知らなかった世界を知る事が出来ました。特に「新庁舎建設事業」は一番ホットな事業でしたので、目まぐるしい日々を過ごしていました。新庁舎建設事業を担当するのは、消防本部全体で「総務課長と現広報係長と私」の3人だけです。以前あちこちの消防庁舎を見学し、検討していた「庁舎検討小委員会」は、私が総務課に着任したと時期を同じにして解散してしまいました。「庁舎検討小委員会」の元メンバーで庁舎担当になったのは私だけだったのです。体制的には「庁舎検討小委員会」のことなど忘れ去られようとしている空気の中で、「みんなで考えた事を無駄にしたくない！」と「小委員会」の報告書を大切にしながら、「基本設計」の考え方に反映させていました。

般の会社でも、大きなポイントの決断には、いろんな手続きがあると思うのですが、市役所の場合は行政の最高責任者としての「市長」。当消防組合は「3つの市」で運営していますので、三人の市長が集まって「方針決定」をしてもらう必要があります。それが「新庁舎」の件になると私も同席する事になります。（市長なんて遠くからしか見た事ないのに、同じ部屋に同席な

んて、それも一挙の三人！(x_x))

プランの説明資料を作って、同席します。別に発言する訳でもないですし、三人の市長と消防長との間に繰り広げられるトークに目をチョロチョロさせているだけです。(もう本当に「へぇ～」って感じでした。)

　議員研修にも佐世保消防本部まで同行しましたし、(佐世保消防の皆さんお世話になりました。)庁舎設計の入札にも同席したり、いろんな業者の方や、大阪府の土木事務所、大阪府啓発本部と所轄警察、区長、水利組合とも打合せ。１ヶ月で１００枚の名刺が無くなってしまいます。(普通の公務員で「営業マン」じゃないって。)ひどい時は３０分刻みで打合せのスケジュールが入っている日もありました。

「河井は自分の部屋作れるからええな～。」

てな感じ。（ほんまに気使います(>_<)）

一方、音楽隊の方は、ホルン、クラリネットの両先生の繋がりで、サックスとトロンボーンの外来講師も来てもらえる事となりました。先生が増えた事と、熱心な「部長さん」の効果で、ほんの少しだけですが練習風景に変化が出てきました。（風景だけで、演奏までは変化してないですよ。）私自身も練習中に時間のチョビット余裕が出来るようになり、パーカッション・パートと居られる時間が増えました。（パーカッションの隊員達には歓迎されていないかも？）でも今思い出すと音楽隊は意外と平穏な時間だったような・・・。

次回、「自主合同演奏会」です。

♪♪♪♪♪おまけで～す：「ガンバレ、消防音楽隊！」連載53回にもなっちゃいました。あと7回で60回！！(☆o☆) ひょえ～、もうすぐ連載5年になっちゃうんですね。12回で終了予定だったのに、えらい長期連載になってしまいました。次の番外編はナニを書きましょうか？今年の番外編がやっと終わったところですが、悩むなー。

さて、年内最後の掲載ですので・・・、

ジャジャン!!☆年末恒例（？）この一年間の活動をサラッと振り返るコ～ナ～～～☆

（誰も何もいわないので今年もこのままの名前で。）

◎出演内容

1月12日（日）　　平成15年消防出初式

1月13日（月）成人の日　平成15年羽曳野市成人式

5月　5日（月）子供の日　はびきの市民フェスティバル

7月19日(土)　　第18回「大阪の消防大賞」発表会

9月21日(日)　　藤井寺市民まつり

9月25日(木)　　羽曳野市消防団大阪府消防操法訓練

　　大会優勝祝賀会

10月　4日(土)　　羽曳野警察管内安全まちづくり式典

11月　3日(月) 文化の日　奈良県山添村まつり

11月　8日(土)　　消防 Festa 2003 in ふじいでら

12月20日(土)　　柏原市安全まちづくりパレード

累計出演回数　179回

◎　　練習回数

毎週水曜日午前中及び強化練習　1回3時間　52回

◎この1年間の出演で使用した曲目

雷神／名探偵「コナン」のメイン・テーマ／「ミッション：インポッシブル」のテーマ／76本のトロンボーン／錨を上げて／慰霊の歌／君が代／アフリカン・シンフォニー／得賞歌(勇者は帰りぬ)／バック・ドラフト／ドラえもん／スリー・ファンファーレ／ハリー・ポッター／イン・ザ・ムード／「ルパンIII世」のテーマ／サザエさん／地上の星／エル・クンバンチェロ／風になりたい

今年も10回の出演がありましたが、平日は一回のみで、残り9回は土日祝日。おまけに9月と11月は(野球のピッチャーみたいですが、)中3日、中4日で出演がありました。藤井寺

市民まつりの天気は曇りでしたが、前日の雨で水田のようになったグランドに、ブルーシートをひいてもらい演奏。藤井寺市と友好都市を締結している奈良県山添村も行きましたが、そこでは大雨。急遽、屋内での演奏に変更になりました。過去30年間の降水確率を覆すかのように、今年の11月の前半はほとんどが雨でした。が、消防 Festa の前日と当日は晴天！奇跡の二日間と言われています。当日などは日焼けするほどのカンカン照りでした。ご来場頂いた3万5000人全ての方に心からありがとう～～～！です(^O^)

1000枚用意した「スタンプ・ラリー用紙」が30分で無くなり、2000枚用意した「アンケート付き抽選券」も瞬く間に完了！「おにぎり1200個」「ペットボトルのお茶1300本」も即完売。藤井寺第三中学校のバトン部や、共演してくれた吹奏楽部も喜んでくれたようです。まだ、落ち着いてビデオを見る時間は無いのですが、35000人って一言では表現のしようのない人数です。（野球場いっぱいの人数！）

今は、残務整理と皆さんが会場で書いてくれた「アンケート付き抽選券」を統計分析出来るようにインプットしています。滞っている仕事もたくさん抱いているので、誰かに入力を任せても良かったのですが、「折角書いて頂いた。」という気持ちで、「全部自分で入力したい。」と思っております。書いて頂いたコメントも最後の1枚まで自分で入力したいです。

今は、1500枚入力を終えたところですが、38%の方が「非常に良い」、48%の方が「良い」、「非常に良い」と「良い」を合わせて86%で、13．7%の方が「普通」と書いてくれました。一方「悪い」は0．3%、「非常に悪い」は0でした。

コメントも「毎年開催して欲しい。」「子供がすごく喜んでいる。」「こんな楽しいイベントは初めて。」「このフェスタを企画した人がスゴイ！」「時間を忘れるぐらい企画が盛りだくさん！」「SASUKE が面白い。」「雰囲気良い。」「楽しい!!」「大掛かり。」「スタッフと来場者が一体となっている。」と沢山書いて頂いています。しかし「待ち時間が多い。」「人が多すぎ。」「案内板が

分かりにくい。」「会場が狭い。」「売り切れが早い。」などの意見も頂き反省材料として再考させて頂きます。

来年は柏原市で開催が決定しています。（また担当するんかな？(^^;) ）

消防 Festa は一応来年で完結！の予定です。

昨年は２７０００人、今年は３５０００人。来年はどうなっちゃうんでしょう？？？（もし来年３８０００人来て頂けたら、開催時間１５時間で１０万人突破です(^_-)）

今年演奏した曲種こそ少ないのですが、半年間「スウィング」の練習していました。なかなか「感じ」が掴めずに未だ消化不良気味ですが、始めた頃と比べると、やっと良くなったとは思います。でも、皆すぐに忘れちゃうんでしょうね(ToT)

日本総領事館、ジーコ JAPAN、SARS、ハクビシン、万景峰号、白装束集団、クーちゃん、WND、きみまろ、喜び組、ネット心中、デジタル万引き、戦争、フセイン政権崩壊、へぇ〜、未納率 37.2%、コロンビア空中分解、消防士殉職、郵政公社、六本木ヒルズ、RIDE ON TIME、ゲッツ！、自己負担3割、「千と千尋」オスカー、職能主義、ゴミ燃料爆発、女子十二楽坊、豊郷町、大規模停電、とろりんシュー、有事関連法案、NY ゴジラ、半身浴、「アトム」「サンダーバード」「ひょうたん島」復活、値上げ、でんき予報、CIRQUE DU SOLEIL QUIDAM、blast！、非戦闘地域、MOVIE 2、つまらん！、ドクハラ、Z・GTR・RX-8・B4、覆面議員、学力不足教師、オレオレ、猛暑欧州、冷夏日本、サクランボ・コメ泥棒、きものブーム、飲酒高速バス、硫酸ピッチ、巻きもの系、バカの壁、ｸﾞﾚｺﾞﾘｰ・ﾍﾟｯｸ、ﾁｬｰﾙｽﾞ・ﾌﾞﾛﾝｿﾝ、裏シーズン、臍帯血、130 億歳星、宇宙 137 億歳、ﾌﾞﾙｰﾚｲﾃﾞｨｽｸ、GNC、ｷｬｻﾘﾝ・ﾍｯﾌﾞﾊﾞｰﾝ、ﾎﾞﾌﾞ・ﾎｰﾌﾞ、ホテイチ、175R、Winy、座頭市、collaboration、ガリレオ使命終了、e-JAPAN II、地震、タンク火災、携帯ナビ、いとこい、A 様 B 様、１８年振り、金平糖館、道頓堀ダイブ死、マルビル広告、久米さん降板、チェーンベルト、健康増進法、豆大福、債務超過財務諸表、総裁更迭拒否、品川駅、水泳世界新、住基ネッ

ト、毒まんじゅう、マニフェスト、不起訴で復帰、T-3 知事、リローデット＆レボリューションズ、松下も年功賃金廃止、LET IT BE…NAKED、視聴率工作、H2A 失敗、ティクリート、盗聴、地上デジタル、t.A.T.u.、東京ドーム不入記録、IRON HAMMER、議決 1511、9342km、スペース・マウンテン、ﾏｲｹﾙ・ｼﾞｬｸｿﾝ逮捕、外交官戦死、LUGLIO-DODICI、PM、派遣決定・・・。

「決定力のない『力』」が印象的な一年でした。「政治」「戦力」「指導力」など全てのシーンでスッキリしない事が多かったように感じます。助けを求める人を平気で見過ごすことも、不正を裁ききれない事も、ほとんどの人が「ヘンだ！」と言ってる事も。

そして、毎日報道されるニュースで、最近特に感じるのですが、以前から日本はこんなに殺人事件が多かったのでしょうか？以前から「殺したい奴の一人や二人、誰でも持っている。」とは良く聞きました。それぞれいろんな事情がありますが、これほど多く、時には親が子供の、子供が親の、いとも簡単に命を奪う。とても正常とは思えません。犯罪が、凶悪化したと言われて久しいです。我々は、とても居心地の悪い国に住んでいるのでしょうか？

今年も一年間、高久先生、竹平先生、小田先生、辻本先生、伊勢先生、岡田先生、高見先生お世話になりました。いつも無理ばっかりお願いして済みません。これからも、いつまでも、宜しくお願い致します。

高見先生、来年8月の「世界バトントワリング選手権大阪大会」頑張って下さい。

そして、音楽隊を「陰」となってバックアップしてくれている大勢の皆さん、いつもありがとうございます。本当に「お蔭さま」の意味と存在を毎日感じ、有り難く思っております。どうか、これからも暖かく支えて下さいますようお願い致します。

この HP、楽長のコーナー「ガンバレ、消防音楽隊！」に今年もたっくさんの応援を頂きました。ありがとうございました。皆さんの励ましの「お話」や「メール」とても喜んでおります。読ん

でくださる方がいらっしゃる限り、応援を頂いている限り、連載を続けて行きたいと思っております。

私個人的には、ちょいと疲れ気味＆金欠気味な一年でした (･･;)

でも、自分の信念を再認識する一年でもあったように思います。

それでは皆さん、

MERRY X'MAS & HAPPY NEW YEAR ！

KASHIWARA HABIKINO FUJIIDERA FIRE PROTECTION DISTRICT

FIRE MAN'S BAND Conductor & Drum Major

Wishing you the best

FIRE CAPTAIN YOSHIFUMI KAWAI

ガンバレ、消防音楽隊！（その５４）

新年明けまして、おめでとうございます。

どんな新年をお迎えになりましたか？テレビ三昧？ビデオや DVD にドップリとか(^-^;

年末から年始にかけて、この HP の URL の変更手続きをしたらしいのですが、手違いで１１月更新分しか表示出来なくなっていました。(仕事初めまで対策が取れなかったので、結構長い期間でした。)

多分、正月休み中にいっぱいアクセス頂いた事と思います。担当者になり変わってお詫び申し上げ、皆さんになり変わって担当者を　(ﾟ o ﾟ)(C=(-_-#　しておきます。（本当にもう！(-“-;)）

我々、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防音楽隊は、１月１１、１２日の出演が終わって、毎年の事ですが、ポケ――――――っとしているところです。（この時期の屋外演奏は寒くてツライ！）

本当に１年、１年が早く感じますね。ドンドン時間経過のスピードが加速している気がします。時代の変化も急速過ぎて、息苦しい感じさえ。その濁流に流され見失ってしまうのではなく、最後の最後の一瞬まで、前を向いて、一歩づつ、二度と戻らない時間を、シッカリ自分の「意思」で歩き、生きていたいです。

さて、今年はどんな事が待ち受けているのでしょう？願わくば楽しい日々でありますように。本年も「消防音楽隊」と「ガンバレ、消防音楽隊！」と（特に）「私」をどうぞよろしくお願い申し上げます。　m(_)m

毎年一回消防音楽隊の隊長や楽長が集まる「大阪府下消防音楽隊業務研究会」があります。近年は議長さんがいい人なので、私も会議でも暴れることなく「平和&穏便」に出席しております。平成4年度の会議も無事に閉会して、「帰ろ、帰ろう。」と思っていると、

「あっ、ちょっとすんません。府下合同で演奏会したいと思っているんですが、賛成の方、挙手願えますか～？」

と、突然、声が上がりました。

私も「実現すればいいかな～。」程度に考えて手を挙げて「賛成」。

「全員賛成ですので、この件に関して別の機会を設けて会議する事にしまーす。急ですんませんでしたー。」

（え～～～、随分段取りいいな～(x_x)）

帰りの車を運転しながら、

「合同演奏は楽しそうだけど・・・。」

どうしても変な違和感があります。

毎年「大阪の消防大賞発表会」で消防音楽隊選抜の舞台演奏をしていますが、それ以外に「演奏会」って言うからには、依頼演奏ではない合同演奏をしたいようです。以前お話した「演奏者が楽しむために」と言う感じです。（第３４話参照してね！）

「消防音楽隊の合同演奏会か～。どうも違うよ～な？」

会議での内容は報告書にして提出、保存しておくのですが、会議の場所以外の非公式な話でしたので、書類にはせず、消防長に口頭で報告と相談です。

「毎年出演している「消防大賞」とは別に、消防音楽隊独自で合同演奏会の発議があります。プライベートでならいい話だとは思いますが・・・。費用・開催地の問題も無視出来ないと思います。よほどの打開策でない限り、ウチの消防本部としては『反対』せざるを得ないと思います。」

「俺もそう思う。」

数週間後、「合同演奏会の会議」です。

「それでは～、皆さんお揃いですので、早速先日お話し、同意頂いた、大阪府下消防音楽隊合同演奏会についての会議を行います。まず、皆さんに確認します。合同演奏会に賛成の方に挙手願います。」

「賛成が～1,2,3･･･１２隊、ん？１隊足りませんが？」

「あの～、反対はいつ手を挙げるのでしょうか？(^_^;)」

「え！？柏羽藤だけ反対ですか？」

「はい、済みませんが、同意出来ません。反対します。」

「・・・・・（一同、絶句。）」

もう、またオ・マ・エかよって空気。(>_<)

「前の業務研究会の時、賛成してはったですよね！」

「はい、非公式に。勢いで賛成してしまいました。でも、所属に戻り、相談の結果、正式に反対と言う事です。」

「どういう事ですか？」

「派遣隊員の取り扱い、費用、開催地の問題など全てがクリアーされない限り反対です。」

「柏羽藤さん、一旦賛成しはったんでしょ？なんで今更。」

「はい、そうです。確かにあの時点では賛成しました。しかし、再検討して反対です。ウチの消防長も了解しています。」

「場所は、大阪府の中心地あたりでやればいいんでしょ？」

「そう言う問題ではないです。我々は所属毎に、そこの住民の方の税金で仕事してるんです。消防音楽隊であっても例外ではありません。依頼演奏でもなく、自主で、大阪府下全部で合同演奏会をしようって言うんだから、キッチリ考えて・・・。」

「よろしいやん、賛成１２隊、反対１隊で、賛成絶対多数です。話を進めましょう！」よっぽど実現したいみたいです。私の発言は全く無視されてしまいました。

「厚生年金会館やピロティーホールの使用料どれくらいでしたっけ？フェスティバルホールは高かったですかね？」

「芸術ホールならキャパも丁度良い感じで、なんとか借りれるでしょう。」

「時期はいつごろがいいですかね？」

「春や秋は火災予防週間で各隊忙しいでしょ。」

「春、秋はホールも演奏会で混んでるし。」

「何人編成にします？６０～６５人ぐらいですか？」

「合同練習は何回ぐらいします？」

「指揮は大阪市さんにお願いして。」

「構成は３部ですか。何曲ぐらいします？」

「９０分程度のプログラムで。」

「１部はマーチでしょ。」

表面的な話題が先行します。私は静観。

するとある隊から、

「けど、ホンマに１隊反対のままでよろしいのですか？」

一瞬の沈黙の後、中心的な隊から、

「色々問題はあると思いますが、私は、是非やりたい！」

「そうですよ、やりましょう。」

「反対って事は、『出ない』って事ですか？」

再び、私へ。

「出る、出ないの話はしていません。問題をすり替えないでもらいたいです。」（会議で約３０人対１人ですので仕方ないですが、連合軍に集中砲火を浴びる私。私は係長、他は課長レベルの人ばかり。）

この後、単に反対するだけでなく、懸命に私なりに考えた問題点と対策方法をいくつも提案しました。しかし、途中の攻防はここにはチョット書けないのですが、最終的には、府下の消防長の会議に議案上程したら簡単に可決され、更に大阪府にも依頼さえすれば必ず後援をしてもらえる、と言う自身満々で楽観過ぎる話で終わってしまいました。（それでは絶対ダメだって何回も言ったんですが・・・(-_-#）

会議が終わっても誰とも目が合いませんし、声を掛けてくる人もいません。大阪府下消防音楽隊で完全に一人だけ孤立してしまいました。（音楽隊が間違った使われ方しないように、出来る限りの事はしました。疲れた～。）

その夜遅く電話が。聞いたことの無い声と名前です。

「どちら様でしょうか？」

「今日の会議、大変お疲れ様でした。実は私も同席していたんです。」

「あ～そうですか・・・（まだなにか？）」

「いま、飲んでましてね、今日の会議を思い出しながら、河井さんは、さぞ悔しかっただろうと、思わず電話をしてしまいました。」

「ハ？」

「正しい事をおっしゃっているのに、あれでは、悔しいだろうな〜って。」

「しんどいですが、いつもの事と諦めています。」（毎回悪役ですし。）

「河井さんの正しい意見が全くとおらず、この人達は何を考えてるんだと、私は呆れて聞いていました。」

「ありがとうございます。でも、そう思うのなら発言してくれれば良いのに。」

「私は、あの会議には、まだ数回しか出てないので。」

「回数は関係ないですよ。それぞれの消防本部や音楽隊を代表して出席しているのですから。意見があるのに発言しないのはダメだと思います。」

「そう言われると、面目ないのですが・・・、上司も同席してますので発言出来なくって。」

「次からは期待してますからね。」

あの場に一人でも賛成してくれる人が居ただけで、少し救いかな？（私の味方してくれる人は、少し変わった人が多いので、多分この人も・・・(^-^;)

翌日、消防長に報告。

「そこまで言うて分からんかったらしゃーないな。」

後日談ですが、皆さんあんなに自身満々で議了したのに、府下消防長会では議案にもしてもらえず、大阪府には相手にすらされなかったらしいです。（だから、それではダメだって何回も言ったでしょ、(-_-;　言ってたとおりになっちゃった。）

個人的には実現したかった気持ちもある「合同演奏会」でしたが、流れてしまい二度と話に出なくなってしまいました。しばらくの間、あの会議に出席していた各隊の偉いさん達は、私と顔を合わせると非常にバツが悪そうで、やっぱり目を合わせてくれません。別になんとも思ってないけどネ(^_^;)

次回、「富山→→→名古屋」です。

ガンバレ、消防音楽隊！（その５５）

今の広報係長と市役所の建築係の人と私の三人は、新庁舎建設の参考とするため、近畿圏外の消防庁舎も一泊圏内の出張で視察に行く事になりました。

「一泊って言うても、遠い所はアカンぞ！」

最初からクギを刺されながらも、あちこちから送付してもらった庁舎パンフレットの中からいろいろ候補を探し、富山消防本部と東海市消防本部の庁舎を見せてもらいたいと考えていると、

「一泊分しか旅費は出せない言うてるのに、日本海側と太平洋側でどうすんねん！」

と当時の総務課長のお言葉。

う――ん、無理かな～。建設から年月も浅く、庁舎規模がウチとほぼ同じで絶対参考になるんやけど…。

「でも、一泊分は出してくれるんや～。」

とりあえず列車時間を調べようと（まだ、「乗換案内」や「駅スパート」は有りませんでしたので。）分厚い全国時刻表を見たら富山と名古屋を結ぶ**青い→→→線**を発見！

「ん！？これは！**飛行機**！！」

これで移動すれば、富山市も東海市も両方消防庁舎を見学出来ます **v(^^)v**

大阪→富山市→泊→富山空港→名古屋空港→東海市→大阪と言うコースで視察する案は「一泊で２度オイシイ。」（当然仕事以外の要素は**ゼロ！**）

総務課長も「しゃーないなー(-“-;)」って事で、大阪駅から朝８時４０分のサンダーバードで富山市消防本部へ向かい、富山市内で一泊。翌朝富山空港から飛行機に乗って名古屋空港まで飛び、電車に乗り換え東海市消防本部を視察。夜大阪駅に戻る少々ハードな日程です。

が、しかし、その日の富山市内の施設は全て満室。***WHY～？？？***(?_?)

すぐに理由は判明。「おわら風の盆」と言う有名な祭りが有るらしく、この時点で宿を押さえるのは大手旅行社でさえお手上げ|(-_-)|（最初は「おら**が**かぜのぼん」って聞いてて、なんの事だかサッパリ分かりませんでした。電話って難しいな～）

でも、三人の業務予定を調整してもこの日しかありません。（別に祭りを見たいわけじゃないのに～(>_<)）旅行社からは「この日は絶対無理です。」と見放され、仕方なく自力で片っ端から電話しますが、どこも満室。「祭りに来られるのですか？」って尋ねられる始末。**（ちゃうっちゅうねん！）**逆回りルートも考えたのですが、飛行機の時間が合いません。何軒電話したでしょうか。ようやく手配できた所が（行って見ないと分かりませんが）観光旅館のような感じ。

「え～、オレ飛行機怖いな～～(^_^;)」と建築係の人。（つべこべ言わないの！）

「なにかの足しに。」って総務課長から「志」も預かって、トニカク、当日の朝大阪駅に集合し、車中で駅弁の昼食を取り、１時に富山市消防本部へ到着。立派な庁舎を隅々まで見せてもらいます。説明してくれる職員の方さえも圧倒してしまう勢いで、相手の事も気にせず、少しでも知識を吸収しようと貪欲に見て周り質問責め。

消防大学での同僚だった人とも暫しの再会。「風の盆に合わせたんでしょ？」と言われ、違うって言っても信じてもらえません。（だから、ちゃうって！）

夕方までたっぷり視察して、６時頃宿に着きましたが、チョットくたびれた感じの旅館。旅費規程の金額内だから問題ないのですが、ビジネスホテルとかの方が良かったのに空きがないから仕方ない。

部屋に入り一息と思ったら、市役所の建築係の人がランニングシューズを履いて走りに行っちゃいました。（ランニングの服と靴を持ってきている事にビックリ！真っ青なランニングシャツの胸に書かれたドデカイ「ふじいでらし」の文字に再び仰天(゜o゜)）

この方、ランニングが唯一の趣味で毎日走らないと気持ち悪いらしいです。残った二人は帰ってくるまで夕飯お預け。

他の宿泊客が夕飯を済ませ、誰も居なくなった大広間の端っこで３人やっと夕食。でも足らないと言うので三人でフラッと市内探索。「盆祭り」って言うと、賑やかなイメージがあるのですが、すごく静かに輪になって踊っている人達が居ましたが、これが「風の盆」って言うモノなのかどうかさえ我々には分かりません。

で、結局、少し飲む事となり炉端へ。そこで建築係の人が店の人に明日乗る飛行機の事を尋ねると、

「へぇ～、お客さん達、あの飛行機に乗るんですかー(^-^;)」

「明朝一番に名古屋までですけど。」

「ここに限った事じゃないでしょうが、あの手の飛行機って、民家のあるところ避けて飛ばしてるんですよねー。」

「エー、危ないんちゃうん？(-“-;)」

「ハハハ、まさか、大丈夫でしょう。飛行高度が低いので、機長が山々の名前とか機内アナウンスで紹介してくれるらしいですよ。」

「飛んでる最中に？バスガイドさんみたいに？」

「そうらしいです、私は乗った事無いんで…。でも、この近くに珍しいモノ好きの人が居て、一番に乗りにいったらしいですが、「二度と乗りたくない！」って言っていたとか。」

「エ――――ッ、オレやっぱりイヤや――！」

「駄々こねても連れて行きます！」

この話を聞いて、思い出した事があります。

どこの国の飛行機かは忘れましたが、そこでもフライト中に機長が山の名前などを流暢に紹介している途中、

「アッ！！」と大声で叫び、プッツリ途切れた機内アナウンス。その後、なんの説明もなくフライトを続けられ、飛行場に着陸するまで、乗客は緊張に包まれたまま放ったらかしだったと言うウソの様なお話。

炉端のお店を出て、まだお腹減ってるって言うんで、仕上げにラーメン屋さんへ。(「食べ納め」って言ってますが。どんだけ食べんねん！(*_*))

旅館に戻り、お腹イッパイで就寝。

建築係の人は翌朝も走りに行っちゃいました。(元気やの～(-.-))

チェックアウトするためフロントに行くと、旅館のサービスとして「踊り」を無料指導中。昨夜見たのと同じ踊りです。

「いかがですか～？」

爽やかなお誘いの声を背に、一路富山空港へ。さほど大きくない空港でこれから乗る飛行機を見つけ、三人同時に「あれかぁ～(^-^;　(^_^;)　(*_*))」

何故か乗り込む前に飛行機をバックに三人揃って記念撮影。

機内は背を伸ばして歩けない通路の両脇に２席づつ。聞いていたとおり飛行高度は低いですが、天候も良くフライト自体は快適です。

飛行機嫌いの建築係の人もおとなしく座っています。

飛行時間の半分を過ぎようとする頃、機長自ら、なんとか岳とか何々山とか機内アナウンスで案内してくれます。心の中で、「機長、叫んでくれないかな～？」なんて期待していましたが、なんの事件もなく無事名古屋空港に着陸。(現在では、富山空港から名古屋空港への定期便は無くなってしまったようです。なんか寂しい(ToT))

「ムァ～」っとして富山空港に比べ蒸し暑い！名古屋駅周辺で昼食を取り、東海市消防本部へ。こちらは行政視察が

多いのか、手馴れた感じで対応も淡々としています。庁舎パンフレットで確認してありましたが、ここの庁舎の屋上にはカリオンがあります。(外国映画で出てくる教会の鐘が、音階を奏でるようにいくつも付いてて、でっかいオルゴールと言う感じでしょうか。)

「何故かこちらにはカリオンがありますね？チャイムの代わりに利用されているのですか？」

「あー、あれですかー、ただ建物の外観デザインの一部で付けられたようですが、使っていません。」

(**ガックリ**、もっと洒落た返事を期待していたのですが。音も聴いてみたかったなー。)

ここでも貪欲に見て周ります。

この時、既に感じていた事なのですが、この視察は、新たな発見や参考箇所の取得を目的にしていた訳じゃなく、自分達のプランが間違っていないか、洩れている事柄がないかなど、**総仕上げ点検**の意味が濃かったと思います。

庁舎建設なんてそう度々ある事では有りません。その**担当**となる事も数奇な巡り合わせです。(望んだってなれるもんじゃない。)しかも、今回は**本部庁舎**。出先の出張所の建設も大変ですが、比べ様が無い程の機能を盛り込み、大量の**調整**を気の遠くなるような回数こなさなければ出来ないのです。ずっと先を見越して計画を重ねて来ましたが、現在の経済状況や IT 技術の躍進などは、この平成４年に誰か想像していましたか？人員計画や機器、車両計画、業務の変革などなど、当時、誰に尋ねても帰って来ない問題を、基本設計の段階で、相当**想像力**を駆使して反映させました。しかし、建物は竣工してしまえば陳腐化が始まるのも宿命。練りに練ったつもりでも、情勢が変われば弾力性は低下してしまいます。担当していた者は、誉められるよりも、けなされる期間の方が断然長いのも容易に想像出来ていました。何十年もの未来に影響を与える事も・・・。

私の場合は特に、庁舎建設と財政担当として予算措置を同時に担当している状況が、「非常に特殊な立場」と、どこの視察先でも指摘されていました。普通は、建設の担当は建設の事だけに専念出来る様、他の業務とは切り離され、単独セクションとして動きます。補助金や地方債などの借入金の手続き、短期及び長期の資金運営を考えるのは、別の通常業務セクションで行われていくのが普通です。が、時として、庁舎関係の件では、議会の答弁書まで書く仕事をしていました。(大袈裟に言っているだけと思われるかも知れませんが、庁舎建設にあたって、議会でも多く質問が出されておりました。)まだ、総務着任４ヶ月の係長には、超ヘビーな毎日。(その分やりがいも感じていましたが。)

夕方、名古屋駅に戻り「きし麺」食べて新幹線ホームへ。何故かホームでアイスクリームを三人で買い食い。

(スーツ姿の男三人でアイスはチト恥ずかしかったです。)

少し疲れて大阪に到着。で、また、お腹減ったという建築係を連れて、炉端に寄ります。(**まだ食べるん？**この人はいったいどれだけ食べたら気が済むのでしょう？イライラしてきた(-_-#)　『餓鬼』って言う言葉が頭を過ぎります。「疲れた。」と「お腹減った。」以外この人の言葉に印象がない(-“-;))」

「あ――、お腹イッパイになった～。」と言う建築係の言葉に、**「食った分は働けよ！」**と心の中でツッコミ入れつつ、やっと解散したのでした。

次回、「除幕式」です。

ガンバレ、消防音楽隊！（その５６）

設計が終われば、次は建設。

１年で工事が完了しないので２年間の「継続費」を予算化して、議会で可決。

いよいよ建設工事にはいります。

たぶん生涯で最も高額な入札にも同席。（「０」（ゼロ）がイッパイ付いています。(☆o☆)）

工事業者が決まれば次は「起工式」。総務課で出席者名簿の作成し、テレビニュースでしか見た事ない「鍬入れ」も始めて実物をみました。（お偉いさんたちが「エイッ！エイッ！」ってチョット変な感じ(^-^;)）

建設工事の現場は、自然と現広報係長が主になって行きます。

私は、毎週行われる「工程会議」にも時々出席しますが、もっぱら、建設事業の総務的な業務に移ります。

別の部署では、１１９番通報を受けるための「通信指令」関係のシステムを構築しています。（こちらは専任部署。羨ましい‼(ToT)）

建設現場を担当している現広報係長から、外壁の仕上げ見本や、タイル見本、電話交換系統、ドアノブの形状まで、毎日のように「確認事項」の連絡が入って来ます。（「すぐ決めて！」って。）

分かり難いでしょうから、少し説明しますと、旧本部庁舎（昭和３９年竣工）は、建築面積９５６㎡、これを５０００㎡にするのが新庁舎建設事業です。旧本部庁舎は分署として

存続させますので、備品や消防車両も残し、新庁舎には９９．９%真っサラの備品や消防車を用意します。建設工事もスーパーサブで在りつつ、これが次の新たな仕事です。（モチロン音楽隊も通常の財政業務も持っています。何足のワラジかな～？(*_*)正しくタコ足配線！）

庁舎の「中身」、備品関係が全く手付かずでした。ある日、市長から備品関係の総額を至急出すように指示がありました。机、椅子、キャビネット、灰皿、ゴミ箱、電気製品、演台、掲示板、ホワイトボード、台車、コピー、FAX、ビデオプロジェクター、高輝度スクリーン、ホース乾燥機、・・・。

設計の段階で主だった備品は構想してありましたが、いざ考えだすと、細かいモノも含めて見ると相当な品目数。

まだ躯体も満足にあがっていない庁舎の設計図面だけで、完成した様子を想像して、一つづつ備品を決めて行きます。（頭の中でまだ出来てもいない庁舎内を何十回も歩き回りました。全て想像、バーチャルな世界。）二日間で全てのリストアップを終え、総額を出します。（実際の購入の際にも、この時の『リスト』が原案となっています。事務機器各メーカーの２０００ページ以上あるカタログを数社分積み上げて、思う機種をすぐ引き開ける特技も、この時の経験で身に付きました。）

さて、工事も順調に進んでくると、今度は竣工式典の下準備の話題が頻繁に出るようになってきます。私としては、そんな事よりも、引越しを含めた、円滑な業務拠点の移動の方を考えていましたし、式典なんて他の人が担当してくれるとも思っていました。しかし、皆さんのご期待とおり「竣工式典の担当」もさせらる事になります。（ったく～(-“-;)）

「竣工式典の司会者はもう決まってるからな！」

（へ～、そんな事だけはもう決まってるんやー(*_*)他にもっと決める事あるやろうに。）

「近鉄国分駅の西側にバスロータリーが出来るんやけど、その人が司会もするらしいから、挨拶しときや。」

「えっ？」

「音楽隊出演言われてるから。」

（はぁ～、そう来るか…。）

駅前バスロータリーと消防音楽隊がなんの関係があるのか？多分一生考えても答えは出ないと思いますが、市の担当部局と打合せです。

「・・・・・で、ロータリーをパレードするのと、挨拶のあとに記念碑の除幕式をしますので、そこでファンファーレをお願いします。」

「ロータリーをパレードってロータリーの大きさは？」

「えーっと、最大で見て、約２５m×５０mです。」

「は？５０mのパレードですか？」

「短いですか？」

「多分ギネスにのるくらい短いです。」

「そしたら、グルグル回ってもらえますか？」

「なんですか！？」

「短いなら回ってもらって。」

「絶句(-_-#)」（どう言う企画やねん！！）

どうしてもロータリーをパレードして欲しいって言うので、結局、ロータリーの脇で座って演奏し、一周だけパレード風に歩き、記念碑除幕のタイミングでファンファーレって事に無理やり決めました。

『柏原市国分西交通広場開場記念式典』って言うお題で、当日現場へ行くと、シャキシャキした感じの女性がひとり。

（この人が竣工式典の司会者かな？）

出演の現場に着くと隊員には演奏の準備を指示して、私は司会者と細部の確認をします。

「消防本部庁舎の竣工式典の司会もお世話になります。」

「はーい、よろしくお願いします。」と言う程度。（あっさりした方だなって事しか憶えてないです。）

で、演奏場所に戻って時間待ちしていると、この司会者自ら、スピーカーを持って移動させたり向きを調整したり、記念碑の幕が風で飛んでしまいそうになっているのを直したりしています。

音楽隊の傍を通る時に、

「大変そうですね。」って尋ねると、

「司会として来ても、こんな事もしなきゃいけないのよねー。」

（お疲れさまです。）

時間とおりに数曲演奏。でも関係者以外誰も通りません。

で、『ご要望』の超短いパレード。すぐ終わっちゃいます。（相当マヌケ）

偉いさんのご挨拶がいくつかあって、フィナーレの記念碑除幕式です。

「では、司会の『どうぞ』と言う合図でロープを引いて下さい。」

私は、除幕式は始めだったので、どんな感じなのかな〜って結構期待していました。

「では、どうぞ！」

ファンファーレを高らかに〜。

で、振り返ると、記念碑は白い幕に包まれたまま、外れたロープを持った沢山のお偉いさん達。ボ――っと突っ立てるお偉いさんの前を、司会者がツカツカツカ。何も無かったかの様に司会者が記念碑の幕を引っ張り取っちゃいました。

なんでも出来そうな司会者です。

「竣工式典も楽しくなりそう(^_^;)」

次回、「・・・」次回までに考えますφ(..)

ガンバレ、消防音楽隊！（その５７）

平成６年８月３１日、新庁舎建設工事は完了しました！（別棟の車庫の２階には消防音楽隊専用練習室が完成しました。バンザ〜イ＼(^O^)／）

しかし、１２月１日供用開始に向けてドンドン忙しくなって行きます。

特に竣工式典は主担当になってしまっているので、毎日毎日、ほとんどイベント会社の企画担当状態。竣工式典と消防組合設立３０周年式典を一緒にするって言うから、招待者も３００名程に膨らみ、余計ゴチャゴチャになってしまいました。（もうっ！(-“-;)）

来賓誘導、テープカット、クス玉割、人員配置、庁舎内の見学誘導など全ても細部を詰めて進行を考え、最後に司会原稿を作ります。

司会者との打合せも数回しました。

「河井ちゃん（何故か「ちゃん」付け(^_^;)」

「はい？」

「文字のサイズ、大きめにして。」

「これじゃダメですか？」

「最近、見にくくなってきてん(^-^;)」

「はぁー、直しておきます。」(-_-#

こんな内容が主になる「打合せ」でした。

読み合わせ中も、

「『・・・・・出動指令がかかると、転倒や衝突による怪我を防止するため、消防車庫までの経路の照明は自動的に点灯し、１分後にタイマーにより自動消灯します。』ふ～ん」

「続きお願いします。」

「『・・・・・この消防車車庫に採用しております幅８mから９．５mのオーバースライダーは、消防車出動時でも、一人で開閉する事が出来・・・』ってホンマ～？」

「ハイ、設計段階から考えて採用しました。」

「へぇ～。」

「感心していないで、続きを読んで下さい。(-.-)」

「『・・・・・それでは、皆様を訓練グランドにご案内致します。（全オーバースライダー要員スタンバイ、合図・河井→全開）』って式典で全部開けるの！？」

「はい、一斉に。舞台展開と同じ考え方です。」

「流石、あんたは出来る！！」

「はぁ～、当日、私は司会者のすぐ後ろに居て、ヘッドセット（トランシーバーのマイクとイヤーフォンが一体となったヘッドフォン）から、全部署に全体の進行を指示します。何か予定外の事が起こってもすぐ指示出し出来ますので従ってくだされば OK です。」

「はーい、しっかりサポート頼むで～、河井ちゃん！」

「でも可能な限り目立たないように壁に引っ付いていてますから。」

「了解。」

「では、そろそろ続き読んでもらえますか？」

「はい、はい。」

『どうなる事か』と言われていた「竣工式典&消防組合設立３０周年式典」は何一つ問題も発生せず、無事大成功に終わりました。（『どうなるか分からない！』って言う仕事は必ず私に回ってきます。）

式典が終われば引越し。

新庁舎完成の打ち上げも、竣工式典の打ち上げもやってる暇が全くありません。

１２月１日の供用開始まであと２日！総務課は、書類の荷造りも出来ていない状況でしたが、私は予算の提出期限がもう目の前に迫っています。１、０００項目以上あるのにまだ何も手付かず状態(>_<)（これは相当大変な事です。）おまけに１２月１日付けで人事異動が行われ上司が異動となりました。

庁舎建設担当で市役所へ出向していた現広報係長は、この人事異動で私と同じ総務課の庶務係長に。庶務係とは、「議会事務、職員福利厚生、衛生管理、物品の調達・支給・貸与、条例等制定改廃など」を主業務としています。

係長と２人の係員の３人が居る庶務係のうち、今２人は来たとこ、最も在籍の長いあと一人は２ヶ月前の１０月に来たばかり。

「なーんも分かりません。」

３人はお手上げ状態|(-_-)|

アカン！待ってらんない。

「今回だけは私が作っておきます。」

庶務係３人揃って「ヨロシクお願いしまーす。」

（なんでこうなるのかなぁ～。）

音楽隊も引越ししなければいけません。が、財政担当の私は「新年度予算」が出来ていないので全く動けず。

供用開始から初めての音楽隊練習日、音楽隊専用練習室へ楽器の引越しです。（年明けには『消防出初式』も迫っています。）でも、隊員達だけに引越しを任せます。（完全に別室にこもって何日も一人で「予算作成」です。頭が沸騰しそう。）

楽器を載せた車が何回も出入りしています。

音楽隊の引越しは、支障なくうまく出来てるかなって、上の階の窓から見てみると、

「そこに、これ降ろしてー。ちょっと、あんたこれ運んで！」

って『部長さん』が指示を飛ばしてます。（って言うか、完全に「現場監督」**(*_*)**）

隊員達は皆黙々と働いています。

（任せておいても、大丈夫そう**(^-^;)**

真新しい専用練習室に『部長さん』の声が**高らかに**響き渡ります。

「次はこれ運んで――！」

（これがまた良く通る声なんですよ～。）

次回、「・・・」またまた次回までに考えますφ(..)

ガンバレ、消防音楽隊！（その５８）

平成６年１２月１日、真新しい庁舎での業務が開始されました。旧庁舎では共用部を含めて職員一人当たりの**0**、９８㎡だったのが、やっと一般的な水準になりました。（廊下や書類庫も含めて一人当たり**0**、９８㎡では、正直言って満足に仕事出来る環境にありません。まー、環境が整備されたからって、満足に仕事をするかは全く別問題ですが･･･。）

総務課も引越しはしたものの、目の前の業務に追われ、ダンボール箱に囲まれたままでバタバタ。特に私は新年度予算の作成が全く手付かずの状態で残っています。（前にも書きましたがこれは相当ヤバイ状況です。新庁舎建設事業から竣工式典まで担当していたので、本来業務に時間が取れず財政担当としてメインの仕事である新年度予算作成が出来なかったのです。）

「お前がやって当然！」と誰も手伝ってくれません。（だいだい「予算」関係はややこしいと言うイメージが定着してしまっているので、誰もが敬遠している仕事です。理解すれば、なんて事ないねんけどなぁ～。）

信じられないでしょうが、庁舎は新しくなっても総務課に給与計算用のパソコンが唯一１台あるだけです。その他の部署ではワープロが各課に１台づつ。

B４一枚印刷するのに１時間かかる超旧式のこのワープロ１台で、約１００ページの資料をこれから作るのです。「なんだ、たった１００ページか～。」なんて思わないで下さい。まだデータの打ち込みも計算の出来ていない段階で、予算査定資料の提出期限まで約１０日。

「ワープロ」って言うっても分からない人が多いでしょうが、「ｗｏｒｄ」や「一太郎」ではありません。今や「絶滅」した「ワード・プロセッサー」と言う、入力部分、ディスプレイ、記憶装置、印刷機能を一体化させた機械で、その昔、様々なメーカーから発売されているワープロが電気屋さんにズラリと陳列されていました。ところが、このワープロと言う機械はメーカーが違うと全く互換性がないという代物。メーカーが同じでもシリーズが違うと殆ど互換性がありません。これは旧通産省が「こんな事とこんな事が出来る機器を開発するように」と言う指示の元、各メーカーがそれぞれの方式で製品を開発した結果です。今風に言うと、入力と印刷とＦＤへの書き込みのソフトとハードが一体になっていました。（後に、インターネットも出来るワープロも発売されました。）パソコンの低価格化に伴い自然淘汰の道を辿るのでした～ってワープロの話ではなくって、こう言う機械が各課に１台づつだったのですが、予算査定資料もこれで作るのでとてもとっても時間がかかると言う話です。

１０００項目を今から１項目づつ入力していきます。（気絶しそうなくらい気の遠くなる作業です。**(ToT)**）当然ですが、何故この金額になるか理由と理論が必要です。朝８時３０分には出勤し、夕方５時１５分が定時ですが、毎日夜中の２時まで頑張りました。毎日１７時間３０分の勤務です。最後の方は連日３時半ぐらいまで１９時間労働。休み時間も食事もずっと画面と書類を見ながら。土曜日曜祝日全く関係なし。段々病人のような形相になってきています。年明け早々「消防出初式」があるため音楽隊も放っておけません。

新庁舎は地上４階建てで、**1**階２階は２４時間交代で勤務する消防隊、救急隊が勤務しています。３階は我々が所属する９時５時の勤務場所。４階は講堂を兼ねた屋内訓練場です。つまり、夜間は３階４階に私ひとりだけ。１２月ですので「お化け」は出ないと思うのですが、夜中１時を過ぎる頃から小さな物音にも敏感になってしまいます。（映画は好きなのですが、オカルト映画だけは今も大の苦手。夜中フト思い出すとやっぱり気持ち悪い**(ToT)**怖いよー！）でも、夜は電話も鳴らないし、ＦＡＸも来ない、上司も誰もいないので、能率が上がります。（昼間の時間帯のように邪魔される事がない。）

入力が終われば、誰も居なくなった事務所に他の課のワープロや私物で互換性のあるワープロをかき集め、６台ほどの並べて一斉に印刷。インクリボン交換と印刷用紙の補充で一人机の周りを走り回ります。（真夜中に一人でバタバタハァハァって。ちょっとバカみたい。）

こんな状態で提出期限に遅れる事１０日、予算査定資料やっと完成。でも説明できるように調べ直さなければいけませんし、補足資料も作らなければ(>_<)

結局、予算査定の前日まで、毎日真夜中。（当時５０ｃｃのスクーター（原チャリ）で通勤していたのですが、夜中の３時すぎに、原チャリで走っていると大型トラックに何度も巻き込まれそうになったり、時々パトカーに止められたり、散々でした。）

下調べ不十分でシドロモドロの説明でやっと予算査定が終わりましたが、２日間で訂正して作り直した書類を再提出しなければなりません。（当時の次長（現消防長）から「明日は絶対休め！命令する！お前潰れてしまうぞ！」と言われてても、仕事があるからと仕方なく出勤したらメッチャ叱られてしまいました。）

そんな中、新庁舎で消防出初式をする事になり予行練習がありました。

今までの旧庁舎では、近くの小学校や河川敷のグランドを借りて出初式をしていましたが、新庁舎になって訓練用グランドが出来たので、ここでとなったようです。（予算作成ばかりしていたので、実はその事自体予行練習の当日まで知りませんでした。）

なんか職員が集まってるなぁって思っていると、

「音楽隊はどうなってんねん！(-“-;)」

と全職員に最も恐れられている署長がグランドで怒鳴っています。（怖い上に、もともと声がデカイんです。）

で、即電話が鳴ります。

「？なんですか？」

「お前、出初式で、入場行進の先頭あるくんやろ！！」

「はい？」

「さっさとグランドに来んかい！」

「？」

グランドに降りると早速入場行進の練習。

「え？え？え？？」って言ってる間に始まってしまいました。

疲れでフラフラになりながら、３０人の音楽隊が行進しているつもりで、一人だけ入場行進。（フラ付きながら「こんなん意味あんのかなぁ～。」と思いながら歩きます。）

まー出初式当日は私だけが分かっていれば、音楽隊員は大丈夫。

仕事一色で必死に走り続けて結局最後にボロボロとなった平成６年も幕を閉じ、平成７年へ。

次回も次回までに考えますφ(..)

ガンバレ、消防音楽隊！（その５９）

　平成７年１月５日に御用始め（なんか「江戸時代」みたいな表現ですね。）病人になる一歩手前までだった体も正月休みの間に養生して一応は回復。翌６日金曜に音楽隊の練習をして、８日日曜日に柏原市の消防団出初式、翌９日に当消防本部の出初式と、二日間連続でほとんど同じ内容の式典演奏をします。（一年で一番ツライ、真冬の屋外演奏(ToT)）以前にも書きましたが、楽器は冷え切ってて鳴らないし、指も動かない、だたでさえ低い集中力が寒さでほぼゼロ。悪い事だらけです。良い事は、挨拶や訓示みたいのばっかりで内容が変わらないから、毎回同じ事の繰り返し。演奏曲も毎回同じ。

おまけに演奏は誰も聴いてないし。（式典だから仕方ないです。）国歌や得賞歌は変えようないですしね。年末の大変『ご親切、丁寧な』予行練習のお陰でな――――んの問題もなく終了。消防長、署長も仲良く並んでご満悦。

仕事は、ボロボロになりながらも１２月に作った来年度予算でしたが、経過はどうであれ完成しているので、あとは今年度補正予算だけです。新庁舎建設事業費は確定しているので、多くは3月末までの人件費を前年度実績と比較しながら予想し、決算見込みを出していきます。予算でメチャクチャに振り回されたので、今度こそ、「普通の業務として、普通の職員と同じような勤務、同じような仕事として」対応出来るように、音楽隊の出演や練習もキチンとこなしながら、御用始めの日からコツコツ積み上げて計算は出来、１３日金曜日にはインプットも終えました。提出期限まで数日残し、あとは印刷だけすれば、書類として提出出来ます。超旧式のワードプロセッサーでも余裕のヨっちゃん(-.-)y-゜゜゜゜゜゜

「成人の日」の振り替え日も含めて明日から3連休。

「よかったー、出演で休日も出勤してたから、この3連休は爆睡、爆眠。眠るぞー！週明け出てきたら印刷しよっと。v(^^)v」

しかし、あの日、あの朝。

何が起こったのかさえも分からなかった・・・・あの瞬間

平成7年1月17日（火）午前5時46分、震源地：兵庫県淡路島北部、北緯34°36´、東経135°02´、震源の深さ16km、マグニチュード7．2、震度7。

死者6，432人、行方不明者数3人、負傷者数43，792人、避難者人数316，678人。住家全壊104，906棟、半壊114，272棟。延べ焼損面積83万㎡、社会・産業面の資本ストック全体の損害額推定9兆9，268億円。のちに「阪神・淡路大震災」と名付けられたあの地震。

続々と伝わる現地の映像。倒壊、黒煙、火炎・・・・

消防機関は市町村毎に運営されていますが、大きな災害に備えて近隣消防同士で相互応援協定を締結しています。しかし、全てが想定されていないレベルの事態が。

南河内に位置する当消防本部は、兵庫県下の消防と応援協定をしていませんでしたが、管理者と消防長が協議し、地震発生からまだ数時間しかたっていない時点で、当柏原羽曳野藤井寺消防組合は自発的に現地応援隊を出動させます。（応援協定を締結していない消防本部としては、最初だったと聞いています。）

「うちは応援隊を派遣したんやって。」

「次は交代要員が派遣されるらしいで。」

当然、本部内でも震災の事が盛んに会話されます。

第一陣から連絡が入り、消防が持っている「通常の救助用機材」だけでは間に合わないからと「ノコギリ」なども調達する事に。現場に行っている隊員達は大変です。私の様に後方で支援している者は忘れられがちです。（でも本当に一番大変なのは被災者の方々。言葉には言い表せない事と思います。）

被災者の方々には、震災の大きな傷跡は今も癒えていないと思います。

心が完全に癒える事など無いでしょう。それ程甚大な被害でした。

（最近も報道されましたが、震災の慰霊碑やメモリアル・オブジェに、いたずらしたり、破壊する人がいます。原爆関係のそれにも同様の行為が毎年報じられます。怒りを感じます。悲しい事だと思います。）

　阪神・淡路大震災のことは皆さんもいろんな思いをお持ちと思いますので、ここではこのくらいにしておきます。

で、私ですが、応援隊がいつまで派遣されるのか、どのように取り扱うのかが決まらない間は、補正予算事務が完全に止まってしまいました。応援隊に関係する燃料費や物件費も数字が変わって行きます。印刷したら終わりってところまで出来ていたのに、またイチからやり直し～(>_<)

消防組合を構成する市の財政と連動しているので、予算関係は消防が決まらないと、市の予算も決まらないんです。当然、補正予算も。各市の財政課から催促の連絡がガンガン入ってきます。

「もう締め切り過ぎてるのにまだ出来てないんですか！？」

「震災関係費用が確定していないので・・・。」

「もう待てないから、補正ゼロで処理しますから、責任はそっちで！」

「もう少しだけ待って下さい。」

「もう無理です！ガチャ」

電話切れちゃった(-_-;　ってことばかり。

消防内部で応援隊の取り扱いに関して決めてくれないと、金額は出ません。

消防長に迫っても、誰に聞いても

「まだ、決められへんなぁ～。」

「市の補正予算組めないから、市の財政はカンカンですよ。」

「・・・・・。」

こういう嫌なことは誰も関わりません。

予算の時と全く同じ。見て見ぬふり。数日経つと市役所の財政から催促の電話もなくなってしまいました。

いつでも補正予算出せるように、毎日残業しながら、日々変わってゆく、震災関係以外の数字を訂正していました。

震災の応援隊派遣が打ち切りになり、やっと予算処理に着手。「震災応援に要した費用」も国から調査依頼が入ります。

もう既に締め切り日を軽く２週間もオーバー。１時間でも早く仕上げないといけません。また、たった一人１日１７時間の労働。毎日夜中の３時までは頑張ります。最後、書類完成したのは朝６時前。制服を着たままイスを並べて２時間ほど眠り再び仕事です。３つの市役所の財政課に持ち込み説明します。どこへ行っても期限過ぎているのでクソミソに言われます。（ある市では「今日、何日やと思ってんねん！今から対応でけへん！」と。でもある市では「君一人でやってるんか？昨日も寝てないんやろ？体は大丈夫か？」というエライさんも。）

「月１００時間以上残業をさせられて、裁判になり・・・。」とか最近ニュースで聞きます。が、その当時の私は１１月で約９０時間、１２月は２５０時間を突破、１月は１２０時間以上、２月も１００時間以上と４ヶ月で５６０時間以上の残業をしていました。（多分６００時間を越えていました。最長は一日１５時間の休日残業。就業時間よりも残業時間のほうが長い。）労働基準法ってナニ？って感じ。一応、管理職なので１円にもなりませんし、代休もありません。（時給５００円なら３０万円だ～！その上、休日、深夜時間だし･･･(>_<)）

幸い、音楽隊の出演は５月までありませんでした。

次回こそは「音楽隊のこと」を書く予定です m(_ _)m

オマケ！

大　変　で　す！

も　う　す　ぐ

『連　載　６０　回』

が　や　っ　て　き　ま　す　ね　ん　け　ど

「とくべつばんがいへん」はどうしましょう？

げんだんかいではまだナニもかんがえていないのですが‥‥。

ネタもさがさないと‥。

かいたらよんでくれます？

でも、このれんさいはいつまでつづくのかなぁ～？(^^ゞ